

# かほっ子

令和3年6月30日 文責 校長 木下 勝典

## 「勉強は、まちがえることから」～チャレンジする心を育てる～

梅雨のさなかとは言うものの、強い日差しが照りつける暑い日が続いています。熱中症の対策もしながらの学校生活です。この7月も元気いっぱい学校生活を送ってほしいと願います。

さて6月の講話として、全校の児童に「教室はまちがうところだ」のお話をしました。学校で勉強することは、本来は楽しいものだと思います。勉強すれば知らなかったことを知ります。できなかったことができるようになります。「友達と話し合ったらわかった!」「前に勉強したことを活かしてこの問題が解けた!」「練習を続けたらできるようになった!」…勉強できることは幸せなことだと思います。

ところが、「まちがいをこわがる」気持ちが勉強の邪魔をします。初めからなんでもわかっている人はいません。勉強する時に間違えるのは当たり前です。テストで間違えたことのない人なんていません。でも、人前で間違えたら恥ずかしくなると思っています。なるだけ、間違えたくない。そう思います。無理ありません。

そこで、この詩を全校の子どもたちに紹介しました。これは、蒔田晋治さんの詩です。蒔田さんは、小中学校の先生で、版画や作文の指導が得意な方でした。絵本にもなっていて、嘉穂小学校の図書館にも置いてあります。機会があれば、借りて全文を読んでみてください。

私は学級担任の頃には、この詩を教室の見えるところに掲示していました。



蒔田晋治さんの本には、この詩が全文書いてあります。

教室は まちがうところだ  
みんなとどしどし手を上げて  
まちがった意見を  
言おうじゃないか  
まちがった答えを  
言おうじゃないか  
まちがうことを  
おそれちゃいけない  
まちがったものを  
わらっちゃいけない  
まちがった意見を  
まちがった答えも  
ああじゃあないか  
こうじゃあないかと  
みんなで出しあい  
言い合うなかで  
ほんとのものを  
見つけていくのだ  
そうしてみんなで  
伸びていくのだ



間違いの一つもない授業、間違えるのが怖くて誰も発表しない授業、スムーズに流れてもそれは勉強ではないと思います。

その教室の一人一人が本気で考えて、自分の考えを思い切って口に出すことが大切だと思います。大事なのは、聞いている人が、誰かが間違えても笑ったり馬鹿にしたりしてはならないことです。そしたら安心して、発言できます。安心して間違えられます。そして、どこが間違えているのか、みんなで考え、正しい答えを見つけていくことが本当の勉強だと思います。そうして得た力は、一人一人の本当の力になります。間違いを乗り越えてつかんだものは強いと思います。

そんな学級をみんなで作りたいです。そんな学校をみんなで作りたいです。

## 6月も子どもたちの元気な声が学校にひびきました!

### ★1年生★



体力テストをしました。6年生がお世話や応援をしてくれました。



さつまいもの苗を植えました。毎日、水やりをがんばっています。

### ★2年生★



生活科の学習で校区たんけん!須賀神社方面に行きました。



育てたキュウリを調理員さんにお渡し、給食に使っていただきました。

### ★3年生★



図工では、回す仕組みを使って、くるくるランドを夢中になって作っていました。



外国語活動では、HOW MANY? 1から20までの数を学習しています。

### ★4年生★

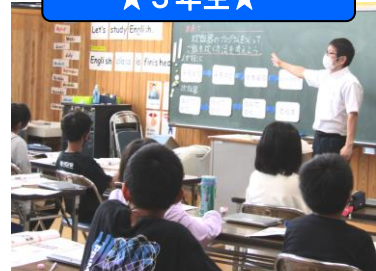


1人1台学習用端末が貸し出され、使うための授業がありました。



理科の学習でヘチマを植えました。ぐんぐん成長しています。

### ★5年生★



プログラミング学習(家庭科)パソコンを使ってご飯を炊くプログラムを考え、炊飯の模擬体験をしました。



井口良孝様とJA 嘉穂の方々にご指導いただき田植えをしました。

### ★6年生★

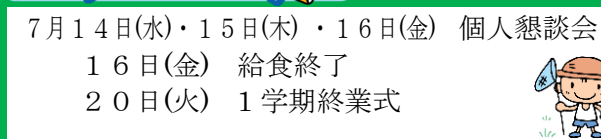


嘉穂小元気アッププロジェクトで全校のみんなを楽しませてくれました。



体育科の時間は、体力作り運動やハードル走に励んでいました。

7月14日(水)・15日(木)・16日(金) 個人懇談会  
16日(金) 給食終了  
20日(火) 1学期終業式



8月 6日(金) 出校日  
25日(水) 2学期始業式  
26日(木) 給食開始

